

世界中で利用されている UpToDate

エビデンスに基づいた臨床意思決定支援 (CDS) として、190 か国以上で 200 万人を超える臨床医が信頼



世界中の臨床医が、自身の専門領域だけでなく、他の領域の信頼できる実用的な情報を求めて UpToDate® を利用しています。UpToDate にアクセスすることで、正確な最新情報を確認して、最善の医療を患者に提供できます。



「UpToDate は継続的に改善されており、簡潔かつ実用的な、最新情報が得られます。内容は、専門医や非常に知識が豊富な専門家が作成しています。私がよく見るのは、感染症関連のトピックです。UpToDate は、現在、弊院の日々の臨床の中で最も使用されているオンライン情報源です。情報は非常に明確で、完全に信頼できます。」

ロヘリオ・ロペス - ベレス医師 MD、DTMH、PhD ラモン・イ・カハル大学病院 (スペイン、マドリード) 熱帯病国立委託ユニット 感染症部門准教授



「UpToDate の情報は、権威ある専門家が作成し、徹底的で完璧に最新という点で、教科書のあるべき姿です。私自身、自分の専門分野以外の問題を確認するために定期的に利用していますが、非常に使いやすく、価値の高い情報が掲載されています。」

アンドリュー・ウィークス医師 MD、MRCOG、リバプール大学 (英国) Sanyu 研究ユニット 国際母性健康部門教授



「非常に稀な各種症候群や遺伝的問題の臨床症状を UpToDate で確認しています。」

マリアン・ジャーラマ医師、カンタハメ中央病院 (フィンランド) 産婦人科医



「UpToDate が医療の質に与える影響には驚かされます。読みやすい情報がすばやく得られる UpToDate は、診療に不可欠となっています。UpToDate を開かないで診療をすることはありません。」

エドゥアルド・ドゥ・オリヴェイラ・フェルナンデス医師
Grupo Hospitalar Conceição (GHC) (ブラジル) 内科レジデント指導医



「診療への影響という点では、UpToDate の使用が 34% の割合で計画の変更に結びついています。患者のアウトカムの改善を考慮すると、これはかなりの影響です。」

ファテヤ・ファルダラ・アラワディ医師ドバイ病院 (ドバイ保健局) (ドバイ) 医療部門ディレクター、
内分泌部門指導医&部長



「UpToDate は病棟のワークフローに大改革をもたらし、特に新型コロナウイルスのパンデミック時や急性転化時には、質の高い診療をさらに推進できるようになりました。」

アリ・タヘル医師 MD、PhD、FRCP ベイルートアメリカン大学医療センター (AUBMC) (レバノン、ベイルート) 血液・腫瘍科、内科部門研究副委員長、Naef K. Basile Cancer Institute 所長



「私たち医師にとって、UpToDate は聴診器や体温計の価値があります。このツールは、かなり多くの教科書や学術誌に取って代わっています。病理生態学的な関連については教科書にも利点がありますが、最新情報が必要な場面では UpToDate は無敵のツールです。ここでは日常的に使用しており、紙ベースの資料を開くことはありません。」

マイケル・ツェラー医師ドリッター・オルデン病院 (ドイツ) 小児科上級医



「インターナショナル SOS は、不慣れな場所や遠隔地にいる人々の支援に取り組んでいますが、定期的に UpToDate にアクセスして情報を確認し、意思決定を裏付けています。」

リチャード・ボルドリー氏インターナショナル SOS (オーストラリア、シドニー)、地域医療学習・開発マネージャ



「UpToDate は、明確で包括的な概要を得るのに信頼できるリソースです。臨床と研究の両方に携わる腎臓内科医として、幅広い腎臓疾患をバランスよくカバーしている UpToDate に信頼を寄せています。」

ダリオ・ロッカテッロ医師、MD、トリノ大学医学部 (イタリア、トリノ)、腎臓学および臨床病理学教授